

阿武隈の美しい緑に包まれた川俣町は、古くから養蚕と絹織物の町として知れ渡り、福島県北部の中核都市として発展してきました。

今、本町は産業構造の大変革の中で、新しい時代に即応した産業基盤の確立を模索するとともに、地方分権の具現化や少子・高齢化社会の到来等、かつて経験したことのない社会経済情勢をふまえ、平成10年9月に21世紀

初頭における町の有り様、地域づくりの方向を定めた「第4次川俣町振興計画」を策定し、「ゆう・ゆうライフ川俣町」をまちづくりの基本理念とし、「安心して暮らせるまち」、「活気にあふれるまち」、「誇りに思えるまち」の三大目標を掲げ平成22年度を目標年次として、町民参加とパートナーシップの精神で力強くまちづくりを推進しております。

悠久の歴史と文化を尊び、緑豊かな里山と清らかな川の流れを大切に、産業の振興と新たな文化を創造し、子供から高齢者まですべての町民が光輝く「ゆう・ゆうライフ川俣町」を実現するため、努力する所存であります。

皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます、町勢要覧発行のごあいさつといたします。



川俣町長
黒沢 正夫

町民憲章

1. 自然とのふれあいを大切にし、きれいな町をつくりましょう。
1. 創意と工夫を生かし、仕事に誇りをもち、活力のある町をつくりましょう。
1. 教養と文化を高め、知性ゆたかな町をつくりましょう。
1. きまりを守り、明るくあいさつをして、心のかよう町をつくりましょう。
1. 老人を敬い、青少年が健全で住みよい町をつくりましょう。

川俣町民の歌

佐藤良筠 作詞
古関裕而 作曲

阿武隈の山脈高く
雲はれて
楓は芽ぐむ街邑に
若やく声はこだまして
文化のいぶきほのぼのと
わが町川俣 故里川俣
今明けてゆく

広瀬川水面のさ霧
消えゆけば
うぐいす謳う山あい
機はたの音色ねいろも美しく
希望と夢を織りなして
わが町川俣 故里川俣
今栄えゆく

流れゆく歴史の億い
生き生きと
やまつつじ咲く丘の辺に
呼びかうわれら肩くみて
融和ゆうわの道をどこまでも
わが町川俣 故里川俣
今拓けゆく